

地下水汚染対策

地下水は、温度が一定で水質が清浄であることなどから、住民に親しまれ身近な水資源として活用されています。地下水はいったん汚染されると、浄化には多額の費用と時間がかかり、元に戻すのは容易ではありません。地下水の保全のためには、汚染の未然防止が重要です。

■地下水汚染の原因

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

過剰な施肥、家畜排せつ物や生活排水の不適正処理による窒素の地下浸透

揮発性有機化合物、重金属等

工場・事業場などからの揮発性有機化合物(テトラクロロエチレンなど)や重金属(鉛など)の地下浸透

■地下水の浄化

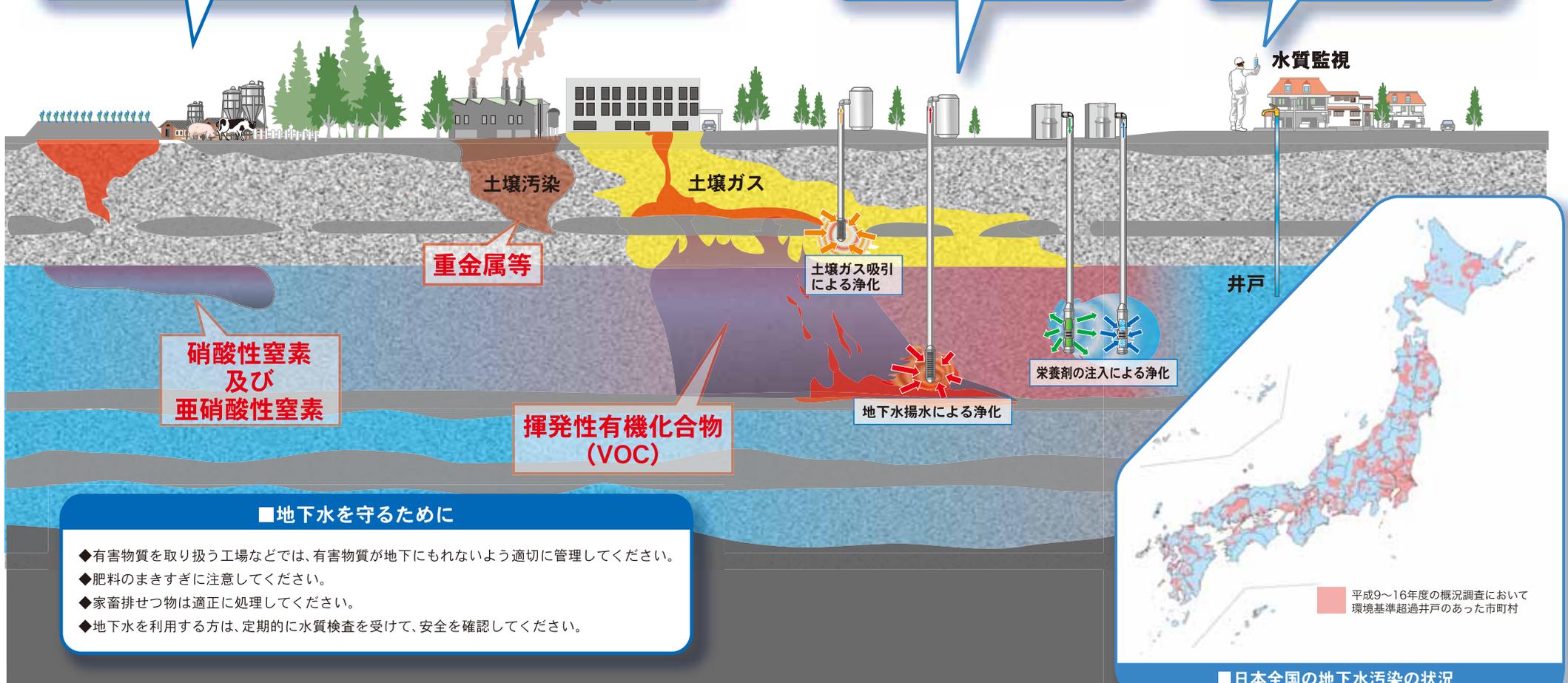
次のような技術があります。

- ◆有害物質を土壤掘削や吸引などにより除去
- ◆汲み上げた地下水から有害物質を分離
- ◆地下水中の有害物質を地中で分解

■地下水の水質監視

都道府県等は、次の水質調査を実施し、結果を公表しています。

- ◆地域全体の地下水質の状況の把握
- ◆地下水汚染の範囲の確認
- ◆汚染井戸の継続的な監視



■地下水を守るために

- ◆有害物質を取り扱う工場などでは、有害物質が地下にもれないよう適切に管理してください。
- ◆肥料のまきすぎに注意してください。
- ◆家畜排せつ物は適正に処理してください。
- ◆地下水を利用する方は、定期的に水質検査を受けて、安全を確認してください。